



目次

□ マルティプル・ライブラリーを目指して	▶ 1
□ 図書の貸出に関するお知らせ	▶ 2
□ 経済学論叢、学術情報センター報がホームページで閲覧できます	▶ 2
□ あなたのマナーは大丈夫？ ～携帯電話から著作権侵害まで～	▶ 3
□ 学術情報センター所蔵資料紹介	▶ 4
□ 計算機室からのお知らせ	▶ 6

□ NEWS & お知らせ	▶ 8

マルティプル・ライブラリーを目指して

マルチメディア・ライブラリーへどうぞ

図書館にあるマルチメディア・ライブラリーをご存知でしょうか？

マルチメディア・ライブラリーは映像資料、オーディオ資料、マルチメディア資料で構成される施設です。今出川・京田辺両校地の図書館それぞれに設置され、同志社大学の学生・教職員、そして卒業生が利用することができます。

ライブラリー内の書架には2,000を超えるビデオ資料が並び、そこから自由に選ぶことができます。文化財、科学、芸能、美術、映画など映像資料の特性を生かしたタイトルがたくさんあります。映像資料の新しい媒体としてLD、最近ではDVDも登場しましたが、こちらはこのライブラリーの所蔵となっています。

語学を中心とするオーディオ資料（カセットテープ、CD）も、このライブラリー所蔵資料の大切な柱となっています。英、独、仏、中国語はもとより、ポーランド語、スワヒリ語などもあり、資

格試験の前だけでなく定期的な利用が増えつつあります。

授業の空き時間や朝一番、夕方からなど、じっくりとご利用されてはいかがでしょうか。

CD-ROMを有効に利用しましょう

このほかにマルチメディア・ライブラリーとして忘れてはならないのがCD-ROMです。

CD-ROMは大量の情報をスピーディーに検索でき、テキストだけでなく、画像や音声などのまさにマルチ機能を備えた媒体です。自分のフロッピーディスクへのダウンロード、編集してのプリントアウトなど、初心者でも簡単に操作できるように工夫されています。また、ここでもDVDが利用され始めました。

ライブラリー内にはCD-ROM検索機が12台あり、よく利用されるタイトルはネットワークを通じて、メニュー画面から選択するだけで利用できます。ライブラリーに足を運ばずとも、教員研究

室や研究室事務室から利用できるものもあります。将来的には学内のパソコンどこからでも利用できることを目指しています。

海外ニュースや放送大学も

マルチメディア・ライブラリーでは、衛星放送を通じて、BBC、CNN、CCTV大富などの海外ニュースや、放送大学の番組も視聴できます。大変利用者が多く、すぐに席がいっぱいとなります。語学の研鑽に、学習や教養の充実に、大いに利用して欲しいところです。

インターネットのデータベース

マルチメディア・ライブラリーへ行かなくても利用できるものに、インターネットで提供するオンラインのデータベースがあります。朝日新聞記事検索データベースの“Asahi DNA”や、雑誌記事検索の複合データベースである“MAGAZINE Plus”をご存知でしょうか？

より多くの方が（ID認証があれば）、より早く（最近の情報がすぐに入手できる）、より手軽に（学内のどこのPCからも）利用することができます。このほかにも有用なデータベースを用意しています。

<http://www.doshisha.ac.jp/gakujo/>

「オンラインデータベース利用」からご覧ください。

マルチプル・ライブラリーへ

図書館はそこに所蔵する資料だけでなく、さまざまな形態の学術情報を広く提供する場として変貌しつつあります。マルチメディア・ライブラリーもその一翼を担う施設としてフル稼働しています。

図書館は雑誌や図書を探しに行くところ、と考えていた方、マルチメディア・ライブラリーをのぞいたり、ホームページからアクセスしてみてください。きっと新しい発見があるはずです。

たとえば水道の蛇口をひねれば水がほとぼしるように、ほしい時にほしい情報が手に入る。そんな形で皆さんに利用していただけるマルチプル・ライブラリーを目指したいと考えています。

図書の貸出に関するお知らせ

貸出条件を以下のように拡大しています。

	開架	閉架	合計
学部生	6冊・2週間	8冊・2週間	8冊
4年次生		10冊・1ヵ月	10冊
大学院生 教職員	6冊・2週間	20冊・3ヵ月	20冊
卒業生	3冊・2週間	3冊・2週間	3冊

詳細は館内掲示・ホームページをご覧ください。

同志社女子大図書の貸出について（変更点）

- ①「貸出」は学生証で行ないます。大学図書館カウンター発行の「貸出申込書」が必要です。
- ②貸出、他校地取寄せ、返却について、大学の図書館でも受け付けます。
- ③大学・女子大どちらか一方に延滞図書等があると両方の図書館で貸出の制限をしますのでご注意ください。

経済学論叢、学術情報センター報が ホームページで閲覧できます

経済学論叢（同志社大学経済学会発行 研究紀要）の第1巻第1号から最新号までを、イメージデータで見ることができるようになりました。「在学生の方に」または「学術情報センター」ページの「学術情報検索」項目の「研究紀要（電子化テキスト）」からアクセスしてください。著者名や論文タイトル等を入力すれば論文の検索ができる画面設定になっています。

また、「学術情報センター」ページの「概要」に「同志社大学学術情報センター報」の項目が追加され、最新号に掲載されている記事をイメージデータで見ることができます。バックナンバーについても、記事のタイトルが掲載されており、必要な記事を探す手助けになります。バックナンバーが必要な場合はカウンターまで申し出てください。

あなたのマナーは大丈夫？ ～携帯電話から著作権侵害まで～

図書館にはお互い気持ちよく利用するための基本的なルールから法律に関わるルールまであります。「自分ひとりくらいはいいじゃないか」という気持ちではなく「自分ひとりだけでも守ろう」という心がけで入館・利用していただきたいものです。

Q 1：図書館で携帯電話を使いたいのですが？

A 1：図書館は公共の場であり、勉強の場です。また、静かな環境を提供しなければなりません。利用者からも携帯電話についての苦情が多数寄せられています。他の利用者への迷惑を今一度考えてみてください。入館時には必ず電源を切ってください。

Q 2：図書館内で飲食する場所はありますか？

A 2：図書館内に食堂はありません。飲食コーナーも設けておりません。大切な皆さんの図書が損傷しないためにも飲食は館外でお願いします。また、館外では皆さんひとりひとりの自覚にまつよりほかありません。本は清潔な手で、飲食しながら開くことのないようお願いいたします。

Q 3：喫煙場所はありますか？

A 3：10月1日より大学の館内は原則禁煙となりましたが、図書館内には従来より喫煙室を設けております。必ず喫煙室でお願いします。また、喫煙室での読書は控えてください。

Q 4：ゼミでの発表のために、図書館の資料を使ってグループで打合せをしたいのですが、閲覧室を使ってもいいでしょうか？

A 4：快適に読書や勉強ができる静かな環境を保持するために、閲覧室でのおしゃべりや電卓、携帯電話等の使用はご遠慮ください。授業のためのグループ打合せも、他の利用者にとっては騒音となってしまいます。グループでの学習、打合せには共同閲覧室（京田辺）、グループ学習室（今出川）が利用できますので、カウンターまで申し出てください。

Q 5：現在手に入らない図書が図書館にあったので、1冊全部コピーを取りたいのですが？

また、「無断複製禁止」等の表示があるのですが、図書館では無断でコピーできないのですか？

A 5：著作権法第31条で、図書館では調査や研究のため公表された著作物について、その一部分（半分以下）をコピーすることは認められていますが、全ページコピーは認められていません。

「無断複製禁止」の表示があるものについても、著作権法の範囲内でコピーすることができます。

Q 6：それでは、短編集や全集の中の一つの作品であれば、全部をコピーできますか？

A 6：一つ一つの作品が著作物ですので、著作権法第31条により図書館でコピーできるのは個々の作品の半分以下となります。なお、著作権の保護期間は、原則として著者の生存期間および死後50年間となっています。

（図書館等における複製）

第31条 図書、記録その他の資料を公衆の利用に供することを目的とする図書館その他の施設で政令に定めるもの（以下この条において「図書館等」という。）においては、次に掲げる場合には、その営利を目的としない事業として、図書館等の図書、記録その他の資料（以下この条において「図書館資料」という。）を用いて著作物を複製することができる。

1. 図書館等の利用者の求めに応じ、その調査研究の用に供するために、公表された著作物の一部分（発行後相当期間を経過した定期刊行物に掲載された個々の著作物にあつては、その全部）の複製物を一人につき一部提供する場合

（以下、略）

【参考文献】

『著作権関係法令集 平成12年度版』

（社団法人 著作権情報センター）

『はじめての著作権講座』

（社団法人 著作権情報センター）

『図書館サービスと著作権』

（社団法人 日本図書館協会）



学術情報センター所蔵資料紹介

幕末明治イギリス雑誌日本関係記事集成

A Collection of Nineteenth and Early Twentieth-Century British Periodical Articles on Bakumatsu and Meiji Japan

【京田辺 FM350】

幕末明治アメリカ雑誌日本関係記事集成

A Collection of Nineteenth and Early Twentieth-Century American Periodical Articles on Bakumatsu and Meiji Japan

【京田辺 FM351】

この2つの資料は、いずれも本の友社が British Library と提携して作成した各33巻のマイクロフィルムである。

1850～1912年までにイギリスおよびアメリカで刊行された雑誌について、数種のインデックスを使って日本関係記事を抽出し、British Library 所蔵雑誌の該当号からその記事の掲載部分を撮影し、マイクロフィルム化している。その結果、イギリス雑誌122誌1364記事、アメリカ雑誌121誌1488記事を取録することに成功した。

幕末明治期（1850～1912年）は、欧米諸国が貿易・領土拡大のための海外進出に努めた世界史上の激動期である。

日本はマルコ・ポーロの『東方見聞録』によってその存在を知られてはいたが、わずかな例外を除き未知の国であった。その日本が、開国後どのように理解されていったかを、この2つの資料は物語る。

記事は、有名無名の多数の執筆者によって記述され、その内容は、日本の政治・経済・文化についてだけでなく、幅広い分野の様々な事象に渡っている。

そのため、利用者は、小説家 Lafcadio Hearn (小泉八雲) や大森貝塚の発見者 E.S.Morse の記事と共に、無署名の人の思いがけないテーマの記事も目にすることができる。中には、当時の日本の風俗をイラストや写真で紹介した記事もあり、読み物としても大変面白い資料である。

また、同志社関連の資料も中には見出すことができ、『The Doshisha University』『The Doshisha and the American Board』という記事や、京田辺校地図書館にその名を冠する D.W.Learned の伝道に関する記事、第3代同志社社長横井時雄による日本の教育紹介記事等が取録されている。

近年、インターネットの普及等により、学術資料へのアクセスは飛躍的に容易になったが、これらの収録雑誌を完備する研究機関・図書館が国内にないこと、抽出に使用されたインデックスを所蔵する館が国内に少ないことから、大変貴重な資料といえる。

マイクロフィルムには、雑誌のタイトルの A B C 順に収録されており、それぞれ掲載年月日順に記事が配列されている。また別冊で、総目次とともに、雑誌題名索引・著者索引・分野別索引が作成されている。

利用者は、これらのマイクロフィルムを利用することにより、検索のための膨大な時間を節約できるだけでなく、網羅的に収集された記事を比較検討することによって新たな研究上の発見をすることができるかもしれない。

これらの原資料を所蔵する British Library は、他にも日本国内にさえ現存しない多数の貴重な日本語資料を所蔵し、外国語で書かれた日本関係資料の宝庫でもある。下記の類似資料もあるので、合せて是非ご利用ください。

幕末明治アジア刊行英文雑誌日本関係記事集成

A Collection of Nineteenth and Early Twentieth-Century English Periodical Articles Published in Asia (excluding Japan) on Bakumatsu and Meiji Japan

【人文科学研究所 FM303】

アジア・オーストラリアを発行地とする25種類の英文雑誌の中から、474編の日本関係記事を抽出したものの。米英編に比べて、植民地経営の視点からの記事が多いのが特色である。

《資料よりの抜粋》

JAPAN. THE DOSHISHA UNIVERSITY.

FRESH LIGHT ON THE AINU!
MR. A. H. SAVAGE LANDOR, grandson of the poet, and himself a talented artist, recently made a remarkable journey round the island of Yezo, and up



J. L. ATKINSON,
American Board.

JAPAN AND
THE UNITED STATES



HIS IMPERIAL MAJESTY MUTSUHITO
The Emperor of Japan

... schools
... mote to close union moral and int
2. Christianity is the foundatio
all the Doshisha schools; and the main points are as fol-
lows:

NATURE AND PEOPLE IN JAPAN.



A TEA-HOUSE IN CHERRY TIME.

収録雑誌タイトル等
ig of his teach-
左上: Nature
vol. 49 1894(英)
右上: The World's work
vol. 3 1901(米)
左: The Century
magazine
vol. 89 1889(米)
背景: The Independent
vol. 48 1896(米)
※(英) …イギリス雑誌
(米) …アメリカ雑誌
te schools to be

a. An ordinary course of five years of study. This course
to to comprehend with that of the ...

計算機室からのお知らせ

2000年10月からの計算機システムの更新について

情報処理実習教室、オープン利用室の整備について

京田辺校地の情報処理環境を充実するために、頌真館（TS）1、2階に情報処理実習教室を新設しました。1階には、パソコンを24台配備した教室を2教室（TS101、TS102）開室し、パーティションを開放することにより、受講者48名の授業に対応することが可能です。また、2階南側を整備し、パソコン48台を配備した情報処理実習教室（TS202）を新設しました。他の情報処理実習教室同様、授業のない時間帯は自習利用ができます。利用できる時間を掲示等で確認の上、利用してください。

TS101、TS102の開室に伴い、TSオープン利用室を恵道館（KD）1階に移設しました。KD101横の大型計算機プリンター室を改修し、スキャナ付きMacintosh、Windowsパソコン、メディア変換用パソコンを含め35台を配備しています。

なお、利用可能なソフトウェア、開室時間については、掲示等で確認してください。

教育支援システムの整備について

2000年10月より教育支援システムの構成を一部変更しています。これにより、既存の情報処理実習教室、情報処理演習室、およびオープン利用室に設置するパソコンの利用方法を一部変更しています。

主な変更点は次のとおりです。

- ・パソコン起動時にプリント出力枚数の確認用ダイアログボックスが表示されます。実績枚数が制限枚数を超過している場合には、印刷することができませんので、情報システム課で所定の手続きを行ってください。

なお、プリント課金については、2000年4月から9月末日までプリント出力した枚数を加算し、表示しています。



- ・ユーザ認証（ログイン）画面を変更しています。電源投入後、Alt + Ctrl + Deleteキーを同時に押下した後、ユーザID、パスワードを入力し、ドメイン名を選択してください。

ドメイン名	対 象
D 1	・ 神、文、法、経済学部・研究科
D 2	・ 商、工学部・研究科 ・ アメリカ研究科、総合政策科学研究科 ・ 留学生別科 ・ 教員

- ・ 次の情報処理実習教室では、教室に備え付けのヘッドフォンを用いてパソコンからの音声を聞くことができます。（教育用の利用に限ります）

京田辺校地：KD101、KD102、TC1-132、TS301、TS302

今出川校地：N23、N地1、N地2

ネットワークシステムの整備について

ネットワークシステムについてはサーバ群およびネットワーク機器を更新しました。その結果、ネットワーク性能の向上はもとより、メール等インターネットサービスの向上、セキュリティ強化を実現しています。

メールシステムについては、システムを二重化することで一層の信頼性を実現するとともに、ウィルスチェック機能を搭載しました。このことにより、ウィルスのないメールだけを学内に配信したり、学外へ送信することが可能になりました。

インターネットサービスについても、プロキシ専用サーバ設置によるWebキャッシュ性能の向上により、ホームページの閲覧における応答の高速化を図りました。

なお、今回のネットワークシステム整備では基幹ネットワーク機器の集約と強化、および支線ネットワークの100MSwitchingHUB化を行い、ネットワーク性能の向上をあわせて実現しています。

大型計算機システムの整備について

大型計算機システムについては、両校地に設置していたホストを基本性能を向上させ、今出川校地のみに設置しました。その関係でホストへの接続方法、京田辺校地へのプリント出力方法を変更しています。詳細は情報システム課までお問い合わせください。

研究支援システムの整備について

2000年10月より研究支援サーバ (IBM RS/6000 SP) の運用を開始しています。導入ソフトウェアについては汎用性、大型計算機で実現していた機能を代替すること等を考慮しています。

<システム概要>

・ハードウェア

IBM RS/6000 SP

Thinノード×4

(1ノード当たり)POWER3 200MHz 1CPU、メモリ

256MB、内蔵ディスク 9GB

7133-D40 SSAディスク

・ソフトウェア

(基本OS)

AIX Ver.4.3

(言語)

C For AIX Ver.4.4

XL Fortran for AIX Ver.6.1

VisualAge C++ Professional for AIX Ver.5

ESSL Ver.3.1 (ライブラリ)

(データ解析)

SAS6.12(SAS/BASE、SAS/ETS、

SAS/GRAPH、SAS/STAT、SAS/OR)

SPSS6.1 for UNIX (Base System、Professional

Statistics、Advanced Statistics)

(数値解析)

MATHEMATICA4.0、MAPLE 6、MATLAB5.3.1

これらのソフトウェアは原則として、telnet接続による利用を想定しています。詳細については、情報システム課の掲示板で確認してください。

パソコン利用時の留意点について

ZIPドライブの利用について

情報処理実習教室等に設置しているパソコンには、画像や音声を始めとする大容量のデータを保存するために、ZIP (100MB) ドライブを準備しています。最近になって、FDを誤ってZIPドライブに挿入し、FDが抜けにくい等の相談が、多数情報システム課窓口寄せられています。このような場合、FDに格納されたデータが破損する、ZIPドライブが利用できなくなる等の恐れがありますので、FD利用時には十分に注意してください。

パスワードの取り扱いについて

「パスワードを忘れました。」との申し出が、毎日多数情報システム課窓口寄せられています。管理者でも設定されているパスワードは分かりませんので、強制的にパスワードを変更することになります。この場合、設定したパスワードが有効になるのは、**最短でも翌日になり、それまではパソコンの利用はできませんので注意してください。**

また、パスワードはセキュリティの観点から定期的に変更し、その管理については、各自で十分に注意してください。

パソコン利用時の注意について

パソコンを利用している途中、席を外すケースが多々見られます。その間、他のユーザが印刷等を行った場合、プリント課金については席を外しているユーザの負担となります。また、電子メールを行っている場合には第三者がその人になりすまし、悪戯のメールを送ることも可能です。このようなことに巻き込まれないためにも、パソコン利用時には、席を外すことがないように注意してください。

また、情報処理実習教室等のパソコンは個人が占有し、利用するものではありませんので、注意してください。

NEWS & お知らせ

学術情報センター利用時間(11~3月)

(臨時の変更は掲示にてお知らせします。)

日曜・祝祭日は原則として閉館、閉室します。図書館については現在試験的に、開講期間のみ日曜開館しています。

● 今出川校地

		図書館			計算機室	
		1・2階	第1・2閲覧室、マルチメディア・ライブラリー パソコン・コーナー、EU資料センター		計算機施設	窓 口
11/24まで	月~土	9:00-22:00	9:00-21:30		9:00-22:00	9:00-21:45
11/25~11/28	土	9:00-16:00	9:00-15:30		9:00-17:00	9:00-12:00
	月、火	9:00-19:00	9:00-18:30		9:00-19:00	9:00-17:00
11/30~12/22	月~土	9:00-22:00	9:00-21:30		9:00-22:00	9:00-21:45
12/26、12/27	火、水	9:00-19:00	9:00-18:30		9:00-19:00	9:00-17:00
12/28~1/8 冬期一斉休暇						
1/9~1/22	月~土	9:00-22:00	9:00-21:30		9:00-22:00	9:00-21:45
1/23、1/24	火、水	9:00-22:00	9:00-21:30		9:00-19:00	9:00-17:00
1/25~2/17	月~金	9:00-22:00	9:00-21:30		9:00-19:00	9:00-17:00
	土	9:00-22:00	9:00-21:30		9:00-17:00	9:00-12:00
2/18~3/3	月~金	9:00-19:00	9:00-18:30		9:00-19:00	9:00-17:00
	土	9:00-16:00	9:00-15:30		9:00-17:00	9:00-12:00
3/5~3/10	月~金	閉室(蔵書点検)	9:00-17:00(第1・2閲覧室、EUのみ開室)		9:00-19:00	9:00-17:00
	土	閉室(蔵書点検)	9:00-12:00(第1・2閲覧室、EUのみ開室)		9:00-17:00	9:00-12:00
3/12~3/26	月~金	9:00-19:00	9:00-18:30		9:00-19:00	9:00-17:00
	土	9:00-16:00	9:00-15:30		9:00-17:00	9:00-12:00
3/27~3/31	月~金	9:00-22:00	9:00-21:30		9:00-19:00	9:00-17:00
	土	9:00-22:00	9:00-21:30		9:00-17:00	9:00-12:00

※今出川図書館の開架書庫、講武館書庫の資料請求は閉館1時間前に締め切ります。

★今出川図書館、ラーネット記念図書館 日曜開館のお知らせ

右表のとおり、開館します。
開架資料の閲覧・コピーに限ります。
なお、3月の日曜開館はありません。

月	日	開室・利用時間
11	5, 12, 19	(今出川) 開架閲覧室
12	3, 10, 17, 24 (24のみラーネットは臨時休館)	雑誌室、参考図書室 : 10:00-17:00 EU資料センター : 10:00-16:30
1	14, 21, 28	(ラーネット) 開架閲覧室
2	4, 11	参考図書・雑誌室 : 10:00-17:00
3	なし	

● 京田辺校地

		ラーネット記念図書館			計算機室	
		2・3階	1階読書室	書庫、パソコンコーナー マルチメディア・ライブラリー(1階)	計算機施設	窓 口
11/24まで	月~金	9:00-20:00	9:00-20:00	9:00-19:30	9:00-20:00	9:00-17:00
11/25~11/28	土	9:00-16:00	9:00-17:00	9:00-15:30	9:00-17:00	9:00-12:00
	月、火	9:00-12:00	閉室	9:00-11:30	9:00-17:00	9:00-12:00
11/30~12/22	月、火	9:00-17:00	閉室	9:00-16:30	9:00-17:00	9:00-17:00
	月~金	9:00-20:00	9:00-20:00	9:00-19:30	9:00-20:00	9:00-17:00
12/26、12/27	土	9:00-16:00	9:00-17:00	9:00-15:30	9:00-17:00	9:00-12:00
	火、水	9:00-17:00	閉室	9:00-16:30	9:00-17:00	9:00-17:00
12/28~1/8 冬期一斉休暇						
1/9~2/17	月~金	9:00-20:00	9:00-20:00	9:00-19:30	9:00-20:00	9:00-17:00
	土	9:00-16:00	9:00-17:00	9:00-15:30	9:00-17:00	9:00-12:00
2/18~3/26	月~金	9:00-17:00	閉室	9:00-16:30	9:00-17:00	9:00-17:00
	土	9:00-12:00	閉室	9:00-11:30	9:00-17:00	9:00-12:00
3/27~3/31	月~金	9:00-20:00	9:00-20:00	9:00-19:30	9:00-17:00	9:00-17:00
	土	9:00-16:00	9:00-17:00	9:00-15:30	9:00-17:00	9:00-12:00

※ラーネット記念図書館の書庫は閉館30分前に閉室します。

同志社大学学術情報センター報 No.20

2000年11月10日発行

編集・発行 同志社大学学術情報センター

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入 ☎075-251-3960